

施策5-1 資源循環型社会の形成

施策をとりまく現状と課題

- 環境への負荷低減を基本とした資源循環型社会の実現に向けての取り組みが、今後も重要視されています。
- ごみの焼却施設や最終処分場をより長く使用するために、ごみの減量・資源化が求められています。
- 燃えるごみの5割を占める生ごみの減量・資源化が課題となっています。
- 市民の協力によりごみの減量・資源化は進んでいます。さらなる分別や発生抑制を図るために、燃えるごみの排出量に応じた費用負担等の検討が必要です。
- 事業系ごみの対策もごみの減量・資源化を進めるうえでは重要であり、これからの課題となっています。
- 高齢者などに配慮したごみの収集方法や、資源ごみの回収拠点施設であるリサイクル広場の拡充等、市民の利便性向上をめざした取り組みの検討が必要です。

ごみ総排出量



資料：環境課

施策がめざす尾張旭市の姿

市民・事業者・行政の協働により、資源循環型社会が形成されています。

施策成果指標 (施策の目的達成度を示す指標)

指標 1 ごみ総排出量

現状値 (平成24年度)	前期目標値 (平成30年度)	後期目標値 (平成35年度)
27,492t	26,400t	25,200t

尾張東部衛生組合(尾張旭市、瀬戸市、長久手市で構成)晴丘センターへの年間ごみ搬入量(家庭系ごみ+事業系ごみ)と資源ごみ量との合計です。

ごみの量は景気などの社会情勢に左右されることもありますが、ごみ問題は重要な課題の一つであるため、ごみ排出量の減少をめざします。

【施策を実現する手段】 基本事業の構成

基本事業	基本事業のめざす姿	役割分担	基本事業成果指標 (基本事業の目的達成度を示す指標)	現状値	前期目標値	後期目標値	まちづくりの進め方
5-1-1 資源循環型社会の啓発	●市民・事業者が、資源循環の必要性・重要性を理解して行動しています。	市民 事業者 行政	●リデュース※、リユース※、リサイクル※を意識し、行動している市民の割合	93.4%	94%	94%	市民協働 自己決定 健康都市
5-1-2 発生抑制の推進	●ごみの発生抑制(リデュース)が推進されています。	市民 事業者 行政	●市民一人一日あたりのごみ総量 ●発生抑制(リデュース)に取り組んでいる市民の割合	921 ^g 91.9%	893 ^g 92%	845 ^g 92%	市民協働 自己決定 健康都市
5-1-3 資源化の推進	●資源化(リサイクル)が推進されています。	市民 事業者 行政	●資源化率 ●燃えるごみの組成調査における資源物の混入割合	30.0% 30.5%	31% 27.5%	32% 25%	市民協働 自己決定 健康都市
5-1-4 再使用の推進	●再使用(リユース)が推進されています。	市民 事業者 行政	●環境事業センターにおけるリユース件数 ●再使用している市民の割合	129件 38.3%	300件 40%	400件 42%	市民協働 自己決定 健康都市
5-1-5 ごみ収集処理体制の整備	●市民・事業者が正しくごみを排出し、きちんと収集されています。 ●ごみ収集・処理の体制が整備されています。	市民 事業者 行政	●ごみ残置シール貼付数 ●ごみ収集に関する不具合・事故件数	4,662枚 15件	4,400枚 10件	4,200枚 9件	市民協働 自己決定 施設運営 健康都市

部門別計画

●尾張旭市一般廃棄物処理基本計画 (H26～H35)

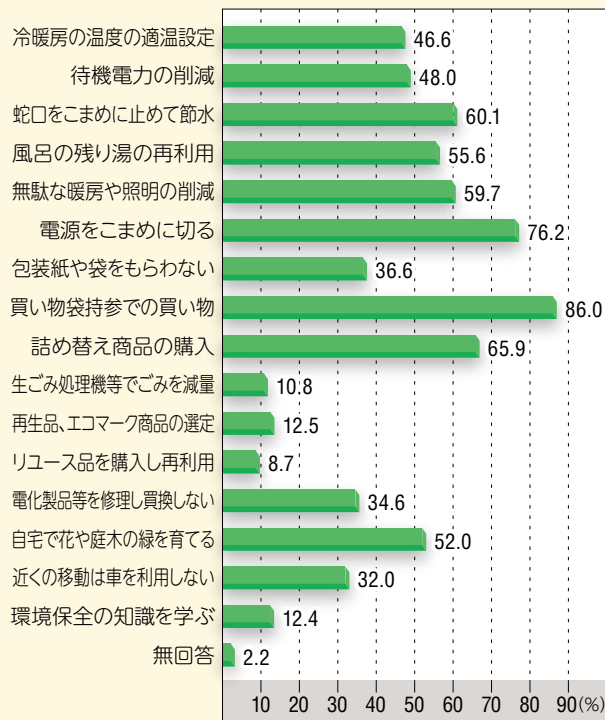
用語解説 ※リデュース/発生抑制のこと。環境負荷や廃棄物の発生を抑制するために無駄・非効率的・必要以上の消費・生産を抑制あるいは行わないこと。
※リユース/再使用のこと。使用された製品を、そのまま又は製品の一部をそのまま再使用すること。
※リサイクル/資源化のこと。製品化された物を再資源化し、新たな製品の原料として利用すること。

施策5- 2 地球にやさしい生活の推進

施策をとりまく現状と課題

- 地球温暖化に代表される地球規模の環境問題が取り沙汰されるなかで、より良い地球環境を将来世代に残すための環境に配慮した取り組みを継続的に進める必要があります。
- 環境保全意識の高まりとともに、地球環境にやさしい取り組みを行う市民は、以前と比較してかなり増加しました。さらなる環境意識の高揚を図るためには、環境教育・環境学習の積極的な推進や、市民・市民団体・事業者との協働による環境保全活動の推進が必要となっています。
- 省エネルギーや再生可能エネルギー設備の普及促進、環境への配慮の啓発などにより、省エネルギー・省資源を進める必要があります。

環境に配慮した生活のために どのようなことを行っていますか (複数回答)



資料：平成24年度まちづくりアンケート

施策がめざす尾張旭市の姿

市民・事業者・行政それぞれが、地球環境にやさしい生活・活動を行っています。

施策成果指標 (施策の目的達成度を示す指標)

指標 1 地球環境にやさしい取り組みの平均実践項目数

現状値 (平成25年1月)	前期目標値 (平成30年度)	後期目標値 (平成35年度)
7.2項目	8項目	9項目

市民が地球環境にやさしい生活を送っているかを見る指標です。

まちづくりアンケートで、環境に配慮した生活のための取り組みの実践項目数の平均です(全17項目中)。

※なお、各実践項目は政策5の各施策・基本事業での取り組みと関連しています。

地球温暖化など地球規模の環境問題に対し、市民の意識が高まっていることを受け、さらに環境に配慮した地球にやさしい生活スタイルへの転換をめざします。

【施策を実現する手段】 基本事業の構成

基本事業	基本事業のめざす姿	役割分担	基本事業成果指標 (基本事業の目的達成度を示す指標)	現状値	前期 目標値	後期 目標値	まちづくり の進め方
5-2-1 環境保全のための教育・学習・実践	●市民が、環境に関する正しい知識・認識を身につけています。	市民	●環境を考えた行動をしている児童生徒の割合	% 90.7	% 91	% 91	市民協働
		事業者 行政	●環境問題に関心を持って自ら学んでいる市民の割合	% 12.4	% 15	% 17	自己決定 健康都市
5-2-2 省エネ・再生可能エネルギーの利用促進	●省エネルギー、再生可能エネルギー設備を活用する市民が増加しています。	市民	●省エネルギー、再生可能エネルギー設備を導入している市民の割合	% 19.0	% 25	% 30	市民協働
		事業者 行政	●再生可能エネルギーを活用している公共施設数	件 6	件 10	件 15	自己決定 健康都市
5-2-3 総合的な環境行政の推進	●行政として、環境に対する具体的な取り組み姿勢を示し、積極的に環境保全に努めています。	行政	●市の施設における温室効果ガス*排出量	tCO ₂ 2,386.7	tCO ₂ 2,300	tCO ₂ 2,300	自己決定 施設運営
			●環境保全を意識し、行動している市職員の割合	% 89.9	% 93	% 93	分野横断 健康都市



緑のカーテン



風力発電

部門別計画

●尾張旭市環境基本計画（H19～H35）

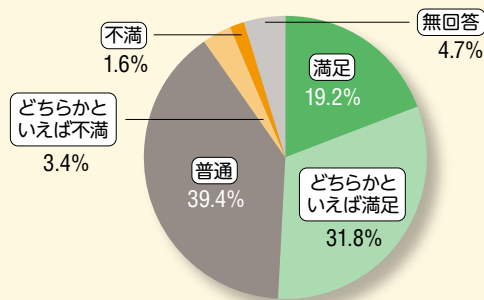
用語解説 ※温室効果ガス/地球温暖化の主な原因となっているガスのこと。二酸化炭素、メタン、一酸化二窒素、フロンガスがある。

施策5-3 身近な緑・水辺環境の保全と創出

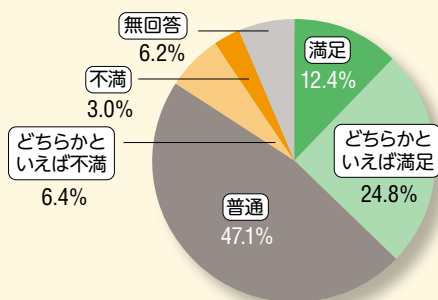
施策をとりまく現状と課題

- 市域の約15%を占める森林公園をはじめ、都市公園や緑地、農地やため池、社寺林などの樹林地を含めた緑地は、市全体の約4割となっています。
- 身近な緑や水辺は本市の持つ魅力の一つであり、多くの市民が、緑や水辺に親しめる場所や空間について充足していると感じています。今後も、この魅力を積極的に発信していく必要があります。
- 身近に自然とふれあえる場や、生物が息できる空間の整備・維持管理を、今後も行うことが必要です。
- 自然環境の保全についても、市民参加による活動が不可欠となっています。行政は、市民や事業者による緑に関わる活動を支援するように努め、現在実施している事業を拡充することが求められています。

緑に親しめる場所・空間の満足度



水辺に親しめる場所・空間の満足度



資料：平成24年度まちづくりアンケート

施策がめざす尾張旭市の姿

緑、河川、ため池が保全され、憩いの空間が創出されています。

施策成果指標 (施策の目的達成度を示す指標)

指標1 緑地面積

現状値 (平成24年度)	前期目標値 (平成30年度)	後期目標値 (平成35年度)
517ha	518ha	519ha

市内の緑地面積の増減を見る指標です。
公共緑地面積と民有緑地面積の合計です。

指標2 緑・水辺に親しめる場所があると思う市民の割合

現状値 (平成25年1月)	前期目標値 (平成30年度)	後期目標値 (平成35年度)
87.3%	89%	90%

※「普通」を除いた現状値：44.1%

市民が身近に緑・水辺があると感じているかを見る指標です。
まちづくりアンケートで、緑・水辺に親しめる場所や空間について「満足」「どちらかといえば満足」「普通」と回答した市民の割合です。

市民との協働により、自然環境の保全と創出を進めます。

【施策を実現する手段】 基本事業の構成

基本事業	基本事業のめざす姿	役割分担	基本事業成果指標 (基本事業の目的達成度を示す指標)	現状値	前期 目標値	後期 目標値	まちづくり の進め方
5-3-1 緑・水辺の保全	●緑や水辺が保全されています。	市民 行政	●公共緑地面積	ha 499.3	ha 501	ha 503	市民協働 自己決定 分野横断 健康都市
			●民有緑地面積	ha 17.4	ha 17	ha 16	
			●BOD*の主要河川での改善数値	mg/l 6.4	mg/l 8 以下	mg/l 8 以下	
			●水質を維持しているため池数	箇所 4	箇所 7	箇所 7	
5-3-2 緑の創出と育成	●緑化の推進により、身の回りの緑が増えています。	市民 行政	●新たに生み出された緑の箇所数	箇所 10	箇所 10	箇所 10	市民協働 自己決定 健康都市
			●自ら緑を育成している市民の割合	% 52.0	% 56	% 60	
5-3-3 緑・水辺とふれあえる場づくり	●自然・動植物・水辺に親しむことができます。	行政	●水辺空間を利用している市民の割合	% 54.7	% 57	% 60	自己決定 分野横断 健康都市
			●水辺空間の満足度	% 84.3	% 86	% 88	
5-3-4 市民参加による緑・水辺環境の保全	●市民参加により緑、河川、ため池を保全する運動が推進されています。	市民 行政	●環境保全活動等に参加している市民団体数	団体 26	団体 28	団体 30	市民協働 自己決定 健康都市
			●環境保全分野のボランティアをしている市民の割合	% 4.4	% 6	% 7	

部門別計画

●尾張旭市緑の基本計画（H23～H37）

用語解説

*BOD/Biochemical Oxygen Demandの略。生物化学的酸素要求量。水質汚濁の指標の一つであり、水の汚れ（有機物）が、微生物の働きで分解されるときに消費される酸素の量のこと。

政策1
+

政策2
+

政策3
+

政策4
+

政策5
+

政策6
+

政策7
+

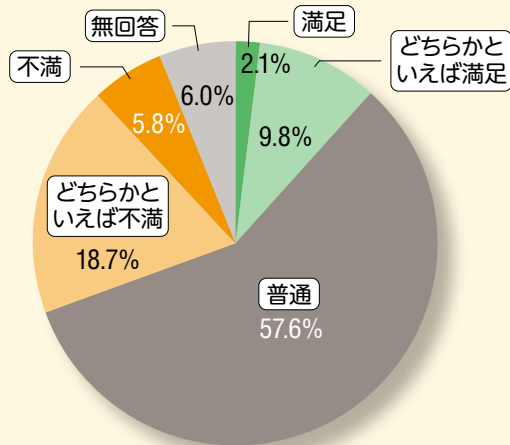
政策8
+

施策5- 4 生活衛生環境の向上

施策をとりまく現状と課題

- 快適な生活衛生環境だと思える市民の割合は順調に向上していますが、空き地の雑草、ペット等のふんやごみのポイ捨てなど環境マナーに関する苦情が数多く寄せられています。
- より快適な生活環境となるように、市民・事業者・行政の協働により、公害の防止や環境の保全に努めることが求められています。
- 下水道の整備が推進されることによって、し尿処理量の減少が見込まれるなかで、今後のし尿処理やし尿処理施設のあり方を見据えた取り組みを進めていく必要があります。
- 旭平和墓園については、区画の完売を視野に入れた新たな取り組みを考える必要があります。

道路・空き地などの清潔さの満足度



資料：平成24年度まちづくりアンケート

施策がめざす尾張旭市の姿

快適で衛生的な生活を営むことができます。

施策成果指標 (施策の目的達成度を示す指標)

指標 1 快適な生活衛生環境だと思える市民の割合

現状値 (平成25年1月)	前期目標値 (平成30年度)	後期目標値 (平成35年度)
69.5%	70%	72%

※「普通」を除いた現状値：11.9%

生活衛生環境が快適であるかを見る指標です。まちづくりアンケートで、道路・空き地などの清潔さについて「満足」「どちらかといえば満足」「普通」と回答した市民の割合です。

指標 2 生活衛生環境に関する事故件数

現状値 (平成24年度)	前期目標値 (平成30年度)	後期目標値 (平成35年度)
0件	0件	0件

生活環境について事故防止の達成度を見る指標です。生活環境に影響を与える事故の件数です。

指標 3 生活衛生環境に関する苦情の解決率

現状値 (平成24年度)	前期目標値 (平成30年度)	後期目標値 (平成35年度)
96.6%	97%	97%

生活環境について問題解決の達成度を見る指標です。市に届く苦情に対して、実際に解決した苦情の件数から算出します。

個人の意識や社会環境などに影響されやすい施策ですが、市民や事業者との連携を図りながら、より快適な生活衛生環境をめざします。

【施策を実現する手段】 基本事業の構成

基本事業	基本事業のめざす姿	役割分担	基本事業成果指標 (基本事業の目的達成度を示す指標)	現状値	前期 目標値	後期 目標値	まちづくり の進め方
5-4-1 地域住民による 生活衛生環境の 保全	●地域住民の手で生活衛生 環境が保全されています。	市民 行政	●生活衛生環境を保全す る活動を行っている市 民の割合 ●ペット・小動物に関する 苦情件数	% 59.5 件 22	% 60 件 25	% 60 件 25	市民協働 自己決定 健康都市
5-4-2 生活衛生環境の 向上支援	●市民が、生活衛生環境を 保つための支援が受けら れています。	行政	●生活衛生環境の 向上支援件数	件 1,599	件 1,600	件 1,600	自己決定 分野横断 健康都市
5-4-3 公害の防止	●公害が防止されています。	市民 事業者 行政	●公害に関する苦情件数	件 59	件 60	件 60	市民協働 自己決定 健康都市
5-4-4 墓園の管理	●墓園が適切に維持管理さ れ、利用できるよになっ ています。	行政	●墓園利用率 ●墓園維持管理に関する 苦情件数	% 85 件 22	% 90 件 20	% 96 件 20	自己決定 施設運営
5-4-5 し尿処理施設の 管理	●し尿処理を安定して行うこ とができるよう、施設が効 率的に管理されています。	行政	●施設維持管理に関する 障害件数 ●し尿等の搬入量	件 0 千kℓ 17	件 0 千kℓ 12	件 0 千kℓ 8	自己決定 施設運営 分野横断 健康都市

- 政策1
- 政策2
- 政策3
- 政策4
- 政策5
- 政策6
- 政策7
- 政策8



まち美化大作戦（ごみゼロ大掃除）



清掃された公園